

注 意 呼 び け 巡 回

～りんご盗難防止パトロール～

当JAでは、りんごの盗難被害を防ぐため、毎年夜間パトロールを行っています。板柳基幹グリーンセンターは11月5日から、青色回転灯を搭載した防犯車で支店管内の園地を巡回しました。

夜間パトロールを行った同センターの小野真也主任は「りんごの盗難被害は県内で既に発生している。生産者へ盗難被害に遭わないよう注意を呼びかけ、地域のりんごを守るため対策を強化する」と話しました。



パトロールを行う職員

りんごの出来具合をリモートで報告

～九州グリーンコープと交流会～

石川地区りんご減農薬部会のいしかわあつぷるスターズ（工藤貞光部会長）では、平成3年の台風19号被害の際お世話になったことをきっかけに九州グリーンコープの組合員と付き合いが深くなり、要望に応え約20年前から減農薬栽培に取り組んでいます。

りんごの利用普及につなげようと毎年産地交流会を開いていますが、今年はリモートでの交流となりました。

交流会では、今年のリんごの出来具合などを報告しました。



リモート交流会を行う部会員

出 荷 規 格 を 確 認

～晩生種りんご山選果基準会～

当JAは、各地区で晩生種りんごの山選果基準会を開き、出荷規格などを確認しました。

10月23日、黒石基幹支店管内の六郷りんごセンターで行った山選果基準会には、生産者約70人が出席。サンふじや王林などのサンプルを並べ、黒石青果センターの担当者が着色や大きさ、サビ果、ツル割れなどの出荷規格を説明し、「サビや傷、鳥害には十分注意する。病虫害の写真を見て、確認して選果を行ってほしい」と呼びかけました。

黒石基幹グリーンセンターの営農指導担当者は「玉伸びが良く大玉傾向。強風による落果を防ぐため、園地を確認し支柱などで対策してほしい」と指導しました。



黒石地区



田舎館地区



尾上地区